

Takata

こうほうりくぜんたかた

9

SEPTEMBER 2026

No.1218

RIKUZENTAKATA



特集

わがまち自慢の3大七夕まつり

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

11 気候変動
対策
産業と
インフラ
の持続
可能な
開発

17 パートナ
シップで
目標を
達成し
よう

1PPON
MATSU

陸前高田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

げんか七太まつり
気仙町

高田町
うぐいせ七太まつり



下矢作灯籠七太まつり



3大 我がまち 自慢の 七夕まつり

8月7日(金)、「高田町うぐいせ七太まつり」と「気仙町げんか七太まつり」が開催されました。

「高田町うぐいせ七太まつり」は、荒町、駅前、大石、大町、川原、中央、長砂、鳴石、和野の9つの祭組に加え、7年ぶりの運行となる松原祭組が参加し、計10台の山車がまちなかを練り歩き、一層の賑わいをもたらしました。

また、「気仙町げんか七太まつり」は、今泉地区で行われました。2台の山車が豪快にぶつかり合う「げんか」が昼と夜に行われ、両祭組の威勢の良い掛け声や太鼓の音、観客の歓声で会場は熱気に包まれました。

11日(火・祝)には、矢作町の下矢作地区で「下矢作灯籠七太」が開催されました。当初は、昼と夜の2回にわたり山車を運行する予定でしたが、昼の部は台風の影響により運行を見合わせました。夕方には、暴風警報が解除されたことから、夜は予定通り山車を運行。山車の引き手たちの「よいよい」の元気な掛け声、太鼓や笛によるお囃子の音色、山車に灯ったろうそくの柔らかな光が、まちを温かく彩りました。

今後のスケジュール

令和8年度
準備・整備

- ・地域クラブの受け入れ体制づくり
- ・指導者の確保、育成
- ・モデル事業の実施
- ・関係団体との連携強化
- ・子どもや保護者の意向確認

令和9年度
展開・拡充

- ・地域クラブの拡充
- ・種目ごとに順次展開
- ・子どもや保護者の意向確認
- ・活動内容の充実

令和10年度以降
地域展開

- ・全ての種目で地域クラブへの展開を目指し、持続可能な体制を確立します。

本市は令和10年度の地域展開を目指しますが、各団体の実情に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。今後も、学校関係者、保護者、指導者、地域の皆さんに意見を伺いながら、体制整備を進めていきます。

陸前高田市が目指すこと

子どもたちの選択肢を広げ、多様な活動の機会をつくる

専門的な指導や多世代との交流を通じ、人間性や社会性を育む

地域の活性化につなげ、「地域の子どもを地域で育てる」を実現する

エンジョイ志向の子どもも参加できる、新しい活動の場をつくる

学校施設の活用や学校との連携を図り、安心・安全に活動できる環境を整える



よくある質問

Q 市公認の「地域クラブ」はどのようなものですか？

A 国の方針にも示されているように、部活動が担ってきた「豊かな人間性の育成」「社会性と人間関係の構築」「自主性や主体性の確立」などの教育的価値を継承した団体を市公認の地域クラブとして認定しています。

Q 費用はどのくらいかかるの？

A 地域クラブごとに会費や実費が異なります。詳細は各地域クラブからお知らせします。

Q 誰でも地域クラブに参加できるの？

A 基本的には中学生が対象です。学校の枠を越えて参加できますが、各地域クラブのルールに基づきます。

Q 大会やコンクールはどうなるの？

A これまでと同様に、中体連や各種大会・コンクールへの参加を目指すことは可能です。地域クラブとしての登録や手続きも市がサポートします。

地域展開は、子どもたちの未来のための大切な取り組みです。
ご理解とご協力をよろしくお願いします。

みんなで支える子どもたちの未来

部活動の地域展開が始まっています



地域みんなで、子どもたちの活動を支える新しい仕組みへ

市では、少子化や子どものニーズの多様化などの課題を受け、これまで学校の教員が担ってきた部活動を、地域の中で支え、持続可能な形にしていく「地域展開」に取り組んでいます。

子どもたちが自分の興味や目標に合わせて、多様な活動を選べる環境を、地域の皆さんと協力してつくっていきます。



なぜ「地域展開」が必要か

①少子化の影響

中学生の数は年々減少し、1つの学校では部活動の維持が難しくなっています。このままでは、休部や廃部が増え、子どもたちの選択肢が減ってしまいます。

②子どものニーズの多様化

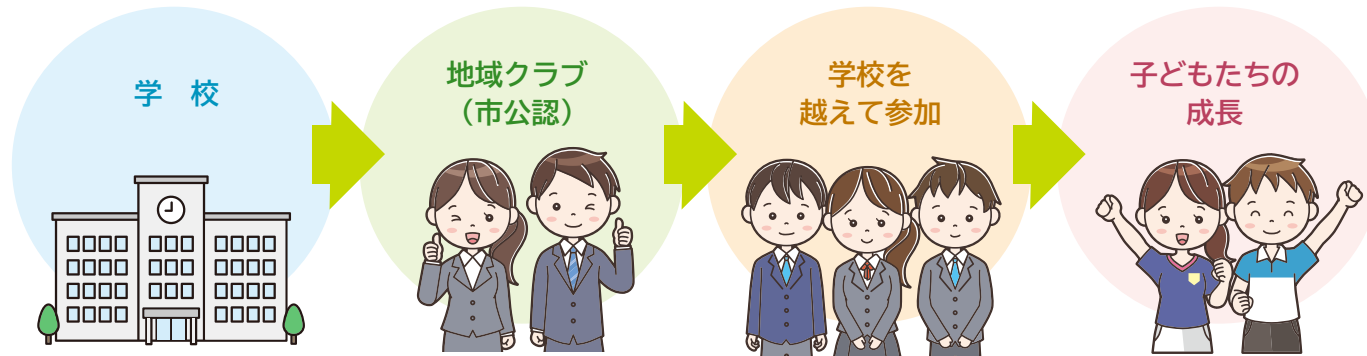
近年、部活動に所属せず、他の活動に参加する生徒が増えています。本市では、全体の約3割以上の生徒が部活動に加入していません。子どもたちが自分の興味や目標に合わせて活動できる環境が求められています。

市内中学生の人数

令和8年度 …… 313人

令和19年度（見込） …… 181人

「地域クラブ」の仕組み



学校施設の有効活用を進め、地域との連携を図ります。

地域の団体が運営し、指導者が活動を支えます。

同じ競技に取り組む仲間と活動。

技術の向上や仲間とのつながりを深めます。

地域の力で、子どもたちの「やってみたい!」「続けたい!」を応援します。

アプリ・WEB（市LINE）から予約する方法

①アプリダウンロード・LINEのお友達追加

オンラインで予約する人は専用アプリのダウンロードまたは市LINEの登録をお願いします。

専用予約アプリ



市LINE



市LINE登録はこちら



市LINEメニューより予約可能

②予約方法

- 1 アプリを開き、「初めての方はこちら」をタップ
- 2 携帯番号を入力後、SMSで送られる「招待コード」を入力
- 3 利用者情報を入力
- 4 「今すぐ予約」の検索枠をタップ



- 5 乗降希望場所をタップ
- 6 「出発地を確定する」をタップ
- 7 乗車人数・希望日時・を入力
- 8 「配車を確定する」をタップ



電話から予約する場合

「スマモビの予約」と伝え、利用日時・乗降場所を伝えてください。

予約センター

☎0120(007)742

平日（祝日・年末年始除く）
午前8時～午後2時30分
上記時間外の予約取得・変更・取消はできません。



たかたスマートモビリティの運行エリアが広がります

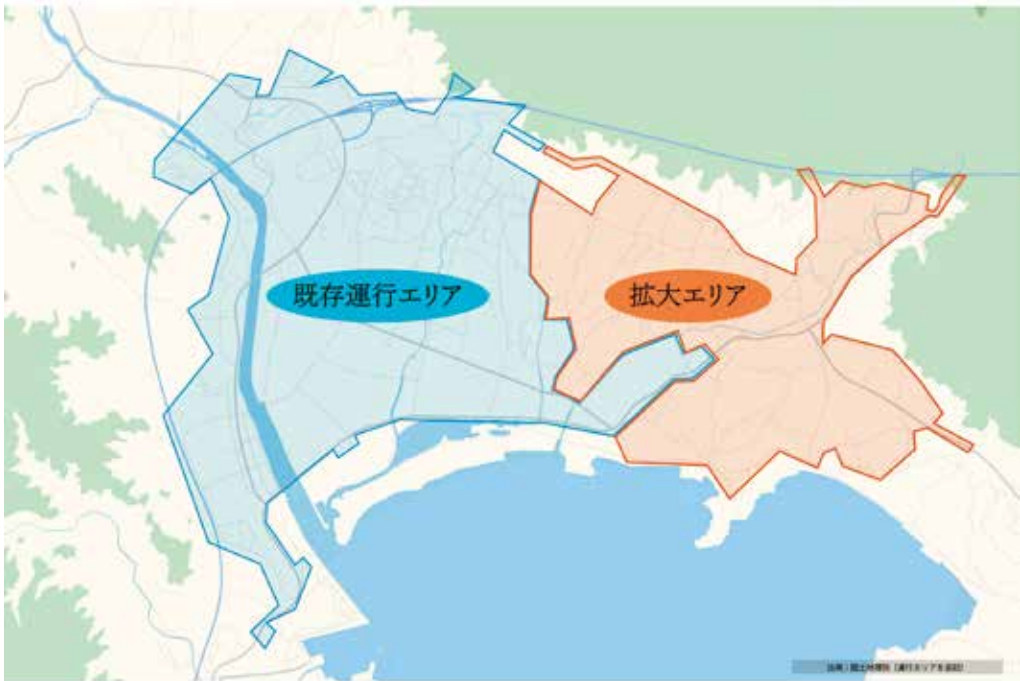


令和7年12月から運行しているAIオンデマンド交通「たかたスマートモビリティ」（たかたスマモビ）について、10月1日（木）から現在の運行エリアを高田町・米崎町の一部に拡大します。たかたスマモビはバスとタクシーの中間のような、予約制の新しい公共交通です。予約した乗車地から目的地まで乗り合わせで運行します。この機会にぜひご登録・ご利用をお願いします。



◆拡大後の運行エリアイメージ

運行エリアを高田町東部や米崎町内にも拡大し、乗降ポイントを全体で150カ所以上設けます。



◆運行概要

運行場所	高田町・竹駒町・気仙町・矢作町・米崎町の一部エリア
運行期間	令和8年10月1日（木）～令和9年3月末 毎日運行。ただし、年末年始は運休
運行時間	午前9時～午後5時（運休時間：午後1時～午後1時30分）
予約方法	アプリ・WEB（市LINE）・電話 乗車希望日の7日前から乗車直前まで予約を受け付けています。

※最新情報は市ホームページをご確認ください。

詳細はこちら



◆運賃の改定について

10月1日（木）から、持続可能な運行を維持するため、運賃を値上げします。ご理解のほどよろしくお願いします。

	アプリ・WEB予約		電話予約	
	改定前	改定後	改定前	改定後
大人	100円	300円	200円	500円
小学生～高校生 介助者	50円	150円	100円	250円
未就学児 障がいのある人	無料		無料	

※支払い方法は現金のみです。

◆たかたコミュニティバス
東部線の運休について

たかたスマモビのエリア拡大に伴い、たかたコミュニティバス東部線（陸前高田駅～イオン～陸前高田駅）は、10月1日（木）から当面の間、運休します。ご注意ください。

◆健診日時

月 日	対象行政区		会 場
	(受付:午前9時30分～11時)	(受付:午後 1 時30分～2 時30分)	
10 月 1 日(木)	横田町 1 区～ 4 区	横田町 5 区～ 8 区	横田地区コミュニティセンター
10 月 2 日(金)	竹駒町 1 区～ 3 区	竹駒町 4 区～ 7 区	竹駒地区コミュニティセンター
10 月 4 日(日)	★平日・指定日に受診できない人 ※要予約		市コミュニティホール (シンガポールホール)
10 月 5 日(月)	高田町 1 区、2 区、18区、19区	高田町 3 区	
10 月 6 日(火)	高田町 4 区、8 区	高田町 5 区	
10 月 7 日(水)	矢作町12区～14区 (受付:午前10時30分まで)		生出地区コミュニティセンター
		矢作町 8 区～11区、15区、16区	矢作地区コミュニティセンター
10 月 8 日(木)	矢作町1区～ 4 区	矢作町 5 区～7区	下矢作地区コミュニティセンター
10 月 9 日(金)	気仙町10区、11区	気仙町 9 区、12区～14区	長部地区コミュニティセンター
11 月 24 日(火)	小友町 5 区、6 区	小友町7区～ 9 区	小友地区コミュニティセンター
11 月 25 日(水)	小友町 1 区、3 区甲、乙	小友町 2 区、4 区、10区	
11 月 26 日(木)	米崎町 1 区～ 3 区、7 区	米崎町 4 区、8区、17区	米崎地区コミュニティセンター
11 月 27 日(金)	米崎町 5 区、6 区、9 区、10区、15区、16区	米崎町11区～14区	
11 月 28 日(土)	★平日・指定日に受診できない人 ※要予約		
11 月 30 日(月)	広田町 1 区、2 区甲、乙	広田町 3 区、4 区、6 区	広田地区コミュニティセンター
12 月 1 日(火)	広田町 5 区、7 区、8 区	広田町 9 区甲、乙、10区	
12 月 2 日(水)	広田町11区、12区	広田町13区～15区	
12 月 3 日(木)	気仙町 1 区～ 5 区	気仙町 6 区～ 8 区	今泉地区コミュニティセンター
12 月 4 日(金)	高田町 6 区、7 区、9 区、16区、17区	高田町10区、13区	市コミュニティホール (シンガポールホール)
12 月 8 日(火)	★レディース健診 ※要予約		
12 月 9 日(水)	高田町11区、12区	高田町14区、15区	

問い合わせ先 市役所保健課健康推進係(内線235)

昔あそび（お手玉・おはじき）教室を開催します



市では、みんなで楽しむ「昔あそび教室」を開催します。
今回の内容は、お手玉（気仙地方では、“おひとつ”と呼んだりします。）とおはじきです。
講師は、本市で活動する、はぎれサークルさんです。
自分だけのお手玉を作って歌に合わせて遊んだり、キラキラしたおはじきで指先を動かして遊びましょ
う。手先を使うことで、脳の血流量が上がり、認知症予防や集中力の向上につながります。
初めての人も無理なく安心して参加できますので、お気軽にお越しください。
◆日 時：10 月 15 日(木)、29 日(木) 午前 9 時 30 分～ 11 時 30 分
◆場 所：市営住宅中田団地 市民交流プラザ
◆対 象：両日参加できる人 ◆参加費：無料 ◆定員：10 名(先着・要予約)
◆持ち物：お手玉用の生地、裁縫道具
◆申込方法：電話にて受け付けています。



申し込み・問い合わせ先 市役所保健課健康推進係(内線241)

年に 1 度の健康チェック

健康診査・各種がん検診を実施します



10 月 1 日(木)から実施する健診について、次のとおり日程をお知らせします。自身の健康管理の
ために、積極的に受診しましょう。
特定健診対象（40 歳から 74 歳までの国保加入者）の人や健診を申し込んだ人には、受診票を送
付しています。健診を希望する人で申し込みが済んでいない人は、お問い合わせください。

健康診査およびがん検診の種類

- ①特定健診 ②後期高齢者健診 ③若年者健診（20 歳～ 39 歳）④結核健診
⑤肺がん検診（喀痰検査含む）⑥大腸がん検診 ⑦肝炎ウイルス検査 ⑧前立腺がん検診

予約

土日は予約制です。予約期間中に二次元コードから予約してください。
◆予約期間：9 月 18 日(金)午前 10 時～ 28 日(月)午後 5 時

土日の
予約は
こちら



レディース健診

特定健康診査などと子宮頸がん検診および乳がん検診を同時に受診することができます。
予約制となっておりますので、予約期間に二次元コードより予約
してください。子宮頸がん検診および乳がん検診の受診票は、
11 月中旬に対象の人に送付します。
◆予約期間：11 月 16 日(月)午前 10 時～ 20 日(金)午後 5 時

レディース
健診の予約
はこちら



本年からオプション検査を受診できます

オプション検査の詳細は二次元コードからご確認ください。
なお、オプション検査については岩手県予防医学協会にお問い合わせ
ください。

オプション
検査の詳細
はこちら



その他

- 混雑を緩和するため、対象行政区を割り振っていますが、指定日に受診できない人は、日程
内の都合の良い日に受診してください。
- 検診車への移動が困難な人、体調不良、日程の都合などで集団健診を受けられない人は、10 月
5 日(月)から 12 月 22 日(火)までと、令和 9 年 1 月 14 日(木)から 3 月 5 日(金)までに二又診療所また
は広田診療所で個別に健診やがん検診を受けることができます。



熊本地震被災地への義援金を受け付けています



7月28日に発生した令和8年熊本地震により、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市では、被災地の日も早い復旧・復興と、被災された皆様の生活を支援するため、義援金を受け付けています。寄せられた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

【義援金募金箱の設置】

- ◆設置期間…当面の間
- ◆設置場所…市役所税務課窓口付近
- ◆受付時間…午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)

詳細はこちら



設置されている募金箱

問い合わせ先 市役所福祉課福祉係(内線261)

教えて SDGs Sustainable Development Goals

その先の笑顔のため、いまでできること

★SDGsとは… 自分子どもや孫たちが暮らす未来に、住み続けられる世界を残すため、掲げられた全世界の人が取り組むべき17の目標。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。本コーナーでは、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

「海に入りたい」という想いを、みんなでサポート ユニバーサルビーチ体験会

本年も障がいの有無に関わらず、みんなで一緒に海水浴を楽しむ「ユニバーサルビーチ」の体験会が、8月9日(日)、高田松原海水浴場で開催されました。

「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」の一環として、令和4年から行われている本イベント。当日は5組の親子が参加し、ライフセーバーやボランティアのサポートを受けながら、水陸両用車いすなどに乗って海水浴を楽しみました。当日は天候にも恵まれ、快晴のもと参加者は海を満喫し、笑顔が弾ける時間となりました。

今回は、ユニバーサルビーチの仕組みやビーチマットなどの用具の導入を全国で広げている「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」の代表・木戸俊介さんも駆けつけ、参加者たちと一緒に海を楽しみました。

★須磨ユニバーサルビーチプロジェクト代表 木戸俊介さん

私自身が車いす生活になったあと、リハビリ先のオーストラリアのビーチで、車いすのままでも海を楽しめるビーチマットに出会い、「あのときの感動を、ぜひ日本でも実現したい」と思ったのがこの活動の原点です。障がいのために普段は海に入れない人たちに、冷たさといったリアルな感覚や、楽しいという気持ちを実際に体感してもらいたいと思っています。この日も、参加した子どもの嬉しそうな顔が見られてよかったです。

★戸羽紋那さん(小学2年)と母・美智子さん(高田町)

2年ぶりに一緒に来ることができた。たくさんのスタッフの人についてもらっているの、いざという時にも安心できる。今日は子どもの嬉しそうな笑顔が見られてよかった。またの機会があれば利用したい。



スタッフに見守られながら海を楽しむ子ども

6歳からシニアまで、家族みんなで体を動かす楽しさを体験しませんか？



「令和8年度体力測定会 & 法政大学健康運動教室」

令和8年度体力・運動能力測定会を実施します。

本年度は、握力などの体力測定のほか、法政大学の教授による目からウロコの「健康講話」、法政大学の大学生と一緒に楽しく体を動かす健康運動教室を実施します。

日頃の運動不足を見直す絶好のチャンスです。動きやすい服装で、ぜひお気軽にご参加ください！

- ◆日時：10月10日(土)
65歳以上の部…午前10時～正午(受付：午前9時～)
6～64歳の部…午後2時～午後4時(受付：午後1時40分～)

- ◆場所：夢アリーナたかた
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：上履き、動きやすい服装、タオル、飲み物など
- ◆申込方法：申し込みフォーム、市地域包括支援センターまたは市役所交流推進課スポーツ交流係まで申込用紙を提出。

申し込みはこちら



- ◆申込期日：9月30日(水)
- ◆申込用紙配布場所：市地域包括支援センター、市役所交流推進課スポーツ交流係、夢アリーナたかた

体力・運動能力測定会

【共通項目】握力、上体起こし、長座体前屈

- ◆65歳以上の部：ADL判定、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行
- ◆6～64歳の部：反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン

法政大学健康運動教室

- ◆健康講話：講師 法政大学生命科学部大学院スポーツ健康学部研究科教授 越智英輔先生
- ◆法政大学生による健康体操および測定会：血圧、血管硬度、膝伸展筋力など



問い合わせ先 市地域包括支援センター(内線219)、市役所交流推進課スポーツ交流係(内線415)



いせ ゆうひ
伊勢 結陽 さん
(米崎町)



きくち まひろ さん
菊地 まひろ さん
(竹駒町)



きくち さと
菊池 沙都 さん
(高田町)



きくち そうすけ
菊池 奏佑 さん
(高田町)



くまがい なぎさ
熊谷 渚 さん
(広田町)



たかはし はるひ
高橋 春陽 さん
(高田町)



こんの まお
紺野 真央 さん
(高田町)



おだ ちゆ
小田 千結 さん
(高田町)



おじま たいが
小島 大河 さん
(高田町)



もりた ゆづき
森田 結月 さん
(気仙町)



かんの ゆな
菅野 結奈 さん
(矢作町)



ちば ゆづき
千葉 結月 さん
(米崎町)



いたばやし みれい
板林 美伶 さん
(竹駒町)



すずき なぎと
鈴木 柊仁 さん
(広田町)



さわだ かいり
澤田 湮 さん
(米崎町)



すがわら みお
菅原 美桜 さん
(米崎町)



きくち はると
菊池 陽翔 さん
(竹駒町)

学 校 通 信



高田高校だより

今回の高田高校だよりは多様な学びや部活動に励む高生生の活動をお届けします！

女子ソフトテニス部高総体出場

5月29日(金)～31日(日)岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技が行われました。その結果、個人戦では吉田・藤井組、小林・遠藤組、東・荒木組、吉田・新沼組の4組が、6月に開催された東北高等学校ソフトテニス選手権大会(岩手大会)への出場権を獲得しました。また、団体戦も順調に勝ち進み、選手たちはベンチの応援を受け、チーム一丸となって決勝戦で盛岡商業高校を2-0で撃破し、5年ぶり12回目の優勝を勝ち取りました！女子ソフトテニス部の快挙に校内は大いに盛り上がり、地域に明るい話題をもたらしたことで多くの方々からたくさんのご支援をいただきました。支えてくださる皆様への感謝の気持ちを胸に、8月3日(月)に京都府福知山市で開催された近畿インターハイに出場しました。



T×ACTION NEWS

T×ACTION (タクシオン) とは…

総合的な探究の時間を中心とした生徒の活動の総称です。



ワークトリップ (1年生)

6月23日(火)、市内企業を見学する「ワークトリップ」に参加しました。この活動は、地域を代表する事業所や新規の分野に取り組む事業所を見学し、地域の可能性や自身の進路選択について考える機会とすることを目的としています。それぞれの進路希望に応じて陸前高田市役所など、16の事業所の中から2つを選んで見学しました。見学先では事業の概要や工夫について伺ったり、体験させていただきました。

T×ACTION高大連携地域探究フィールドワーク (2年生)



2年2組・3組(文系・理系進学希望クラス)の生徒71人は、主体的に学び探究する姿勢を身につけるために、岩手大学の学生さんの協力を得て、探究活動・フィールドワーク・研究成果発表に取り組めます。今回は、7月21日(火)に

行った市内でのフィールドワークの様子を紹介します。自らの興味・関心に応じて「医療」「福祉・健康」「教育・心理」「エネルギー・脱炭素」「防災」「地域振興①～③」のチームに分かれて、地域の現状と課題について調査しました。中でも「防災」チームは、「防災の大切さを知り、小中学生にわかりやすく伝えるためにはどうすればよいか？」という問いを立て、3.11仮設住宅体験館を見学し、語り部の佐藤一男さんからお話を伺いました。災害の恐ろしさを忘れず、次への備えにしたいという佐藤さんの思いを受け継ぎ、次世代の防災のあり方について探究していきます。

※本校の活動は公式noteをご覧ください。
※高高祭(一般公開)開催！皆さんのご来場をお待ちしております。
日時：10月3日(土)午前10時～午後2時

高田高校の
取り組みは、
公式noteを
ご覧ください。



慶 弔

(令和8年7月16日～8月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

おめでた… () は保護者・字名

★男の子

気仙 戸 羽 蒼 真 (健太郎・垂井ヶ沢)
高田 福 原 晴大朗 (汰樹・寒風)

★女の子

横田 村 上 翠 依 (廉・久連坪)

お幸せに… () は字名

竹駒町 及 川 昂 大・阿 部 歩 果 (相川)
佐 藤 詩 音・小 野 桃 花 (相川)
気仙町 吉 田 健 太・小 泉 舞 桜 (愛宕下)
中 野 智 也・尾 形 ゆ かり (福伏)
米崎町 佐 藤 海・菊 池 麗 佳 (松峰)

おくやみ… () は年齢・字名

矢作 千 田 定 一 (68歳・梅木)
佐 藤 近 子 (92歳・三の戸)
横田 菅 野 悦 雄 (73歳・友沼)
山 谷 辰 夫 (85歳・狩集)

竹駒 斎 藤 瑠 美 (46歳・志田実)
菅 野 せつ子 (90歳・滝の里)
佐 藤 席 男 (90歳・大畑)
中 口 貞 三 (84歳・上壺)
気仙 菅 野 利 夫 (87歳・愛宕下)
菅 野 クニ子 (94歳・上長部)
高田 岩 崎 たみ代 (96歳・栃ヶ沢)
金 幸 子 (91歳・本丸)
黄川田 ミナコ (96歳・山苗代)
菅 原 弘 志 (83歳・山苗代)
菅 野 英 輝 (83歳・太田)
米崎 千 葉 朝 夫 (88歳・佐野)
吉 田 ヨシ子 (93歳・脇の沢)
熊 谷 節 子 (71歳・堂の前)
小友 清 水 セツ子 (94歳・唯出)
広田 村 上 節 雄 (64歳・蒲田)
大和田 ミワ子 (92歳・大陽)
及 川 幸 吉 (85歳・小長洞)
碓 井 ト シ (89歳・蒲田)

数字で見る陸前高田市 (令和8年7月31日現在)

市内の火災救急活動

7月

() は1月からの累計

◆建物 0件 (2件)
◆林野・その他 0件 (0件)
◆出動件数 88件 (564件)
◆搬送人員 83人 (543人)

市の人口 (住民登録人口)

() は前月比 出生・死亡数は7月分

男 性 7,957人 (-12人)
女 性 8,575人 (-12人)
計 16,532人 (-24人)
(出生5 死亡30)
世帯数 7,507世帯 (0世帯)

市内の交通事故

7月

() は1月からの累計

◆人身事故 0件 (9件)
◆物損事故 15件 (162件)
◆負傷者 0人 (11人)
◆死亡者 0人 (0人)
◆飲酒運転 0人 (1人)

地域包括支援センター発

介護お茶のみ話 142



「SOSネットワークシステム」について

「SOSネットワークシステム」は認知症などで徘徊行動がみられる人などを事前に登録しておくことで、行方不明になった時に早期発見するための仕組みです。

家族などからの要請があった場合、警察と協力して防災無線を使用し捜索します。

◆なぜ早期発見が必要か

行方不明の発見直後は、近隣など生活圏内に留まっているケースが多く、捜索範囲を絞って効率よく探すことができます。

一方で、時間が経過すると、遠くへ移動する可能性が高くなるため、捜索範囲が広がり、発見の遅れにつながります。

◆早期発見ステッカー

行方不明者の早期発見や身元確認を容易にするために、ステッカーを配布しています。

ステッカーは、徘徊する可能性のある人が日頃使用している履物や杖などに貼ります。黄色の蛍光色なので目につきやすく、夜間は反射して光るため交通事故防止にもつながります。



ステッカー使用例

◆利用方法

利用するには事前登録が必要です。登録を希望する場合は、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）、または地域包括支援センターまでご相談ください。

◆お願い

① 家族の対応

行方不明が発覚した場合は、直ちに警察に連絡し、早期の捜索を心がけましょう。

② 地域での対応

早期発見ステッカーを貼り付けている、季節に合わない服装をしている、長時間座り込んでいる、同じところを往復している人などを見かけたら、優しく声をかけてください。

その際に、ちぐはぐな返事、会話が噛み合わない、帰る場所が分からないなどの様子が見られた場合には、警察へ連絡してください。

◆問い合わせ先

市地域包括支援センター(内線215)

535 保健だより



自分の心を守るために「ストレス」の上手な付き合い方

●9月は自殺予防月間です

現代社会でストレスを完全になくすことは難しいですが、大切なのはそれとどう付き合っていくかです。この機会に、自身の心と向き合い、ストレスとの上手な付き合い方について考えてみませんか。

◆心の疲れに気づくために

私たちは日々、仕事や家事、人間関係など、様々な刺激をストレスとして感じながら生活しています。適度な刺激は活動の源にもなりますが、過度なストレスが長く続くと心や体に不調をきたす原因となります。

「よく眠れない」「食欲がない」といった状態は、心が疲れているサインかもしれません。こうした変化に早めに気づき、自分を労わることが、心の健康を守る第一歩となります。

◆今日からできる5つの対策

ストレスに上手に対処することを「ストレスコーピング」と呼びます。自分に合った「心の

守り方」を増やすために、次の5つを試してみましょう。

① 深呼吸：3分間の呼吸と背伸びで緊張を解きます。
② 書き出す：モヤモヤを紙に書いて心を整理します。
③ 五感：好きな香りや音楽、入浴を楽しみます。

④ 休止：寝る前はスマホを置き、脳を休めます。

⑤ 対話：言葉にして伝えることで重荷が軽くなります。

◆一人で抱えず相談窓口へ

対処法は一つに限定せず、状況に合わせて選べるよう多くの「引き出し」を持つことが大切です。もし、自分だけでは抱えきれないと感じたり、つらい気持ちが続いたりするときは、決して一人で悩まないでください。相談することは弱さではなく、自分を守るための勇気ある大切な行動です。

話しにくいことでも、保健師がお話を伺います。どうぞお気軽にご相談ください。

問い合わせ先 市役所保健課 健康推進係(内線236)





祝
400 万人

■ オープン以来の来場者が大台に、記念すべき節目を達成
道の駅高田松原の来場者数が 400 万人を超えました



記念のパネルを手にする藤原さん一家と佐々木市長

8月5日(水)、気仙町の道の駅高田松原の来場者数が、累計400万人に達しました。
令和元年9月にオープンした同駅は、令和6年10月に累計300万人を達成。それから1年10カ月後となる今回、記念すべき400万人目の来場者となったのは、高田松原海水浴場に花巻市から4人で訪れていた藤原さん一家。記念品として、同駅で販売されている本市のブランド米「たかたのゆめ」などが贈られました。
400万人目となった藤原和博さんは「400万人目になるとは思っていなかったののでびっくりした。これからも足を運んでいきたい」と笑顔で話していました。

つなげ、
ラリー

■ 息を合わせ、心を重ねる、笑顔でつながるラリー
フレスコボールリクゼンタカタカップ 2026

フレスコボール公式戦「リクゼンタカタカップ2026」が、高田松原海水浴場で8月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり開催され、85組が出場しました。

フレスコボールは、ラケットとボールを使い、ペアでお互いに打ちやすいボールを返してラリーを続けるブラジル発祥のスポーツ。本市での開催が5年連続となる同大会は、両日ともに天候に恵まれ、選手たちは日頃の練習の成果を存分に発揮していました。



息を合わせてラリーを交わす選手

出場した二階堂千里さん(岩手大2年)は「目標の5分間いっぱいプレーすることができた。今日初めてペアを組んだのですが、楽しくプレーできてよかった」と笑顔を見せました。ペアを組んだ大田桃歌さん(気仙沼市)は「ビーチでのプレーは初めてだったので大変でしたが、打ち返ししやすいボールを返してくれて助かった」と振り返っていました。

未来へ
繋ぐ絆

■ 名古屋市の中学生と交流を深める
陸前高田市・名古屋市絆交流

8月17日(月)から19日(水)までの3日間、名古屋市の中学生37人が本市を訪れ、市内両中学校の代表生徒15人と交流を深めました。



市内中学生の案内で祈念公園を見学しました

本交流は、東日本大震災をきっかけに両市の教育委員会が締結した「絆協定」に基づく取り組みで、本年度で14年目を迎えました。生徒たちは、本交流のテーマソングである「未来への翼」を合唱したほか、市内の中学生による案内で東日本大震災津波復興祈念公園を見学するなどして親睦を深めました。
名古屋市から参加した横山明音さん(富田中2年)は、「祈念公園を案内してもらい、震災の規模の大きさを実感した。今回交流した中学生がこちらに来たときには、今度は私たちが名古屋を案内したい」と話していました。

家族で
いっしょに

■ 生きものの記録を未来に残す標本作製に挑戦
図書館で生きもの博士をめざせ！2026 ～昆虫の標本をつくってみよう～

昆虫の標本作製の体験会が、7月25日(土)にアバッセたかたパブリックスペースで開催され、11組の家族22人がカブトムシやクワガタムシの標本を作製しました。



真剣に標本作製する子ども

本体験会は市立図書館が企画。体験会では、マチ針を使って体や足を固定する展足の方法やどこにどんな生きものが住んでいたか記録を残す標本の重要性を説明しました。参加した家族は一緒になって一生懸命、丁寧に昆虫の形を整えていました。
カブトムシの標本作製した臼井航太郎さん(広田小2年)は「初めて標本を作ってみて難しかったけど楽しかった。今度はクワガタムシで作ってみたい」と意欲を見せていました。

自然を
満喫

■ 仲間とともに共同生活、自ら考える力を学ぶ
大自然と触れ合う「陸前高田ワタミ自然学校」

首都圏の子どもたちが本市の自然と触れ合う「陸前高田ワタミ自然学校」が、7月30日(休)から8月2日(日)までの4日間開催され、36人の子どもたちが参加しました。

ワタミ自然学校は、ワタミ株式会社が主催し、自然や仲間との共同生活を通じて、自ら考え行動する力を育む体験学習プログラム。同プログラムでは、ワタミオーガニックランド内で同社の渡邊美樹代表



出来立てのハンバーガーを堪能する参加者

取締役会長兼社長とともに植樹活動を実施したほか、昼食のハンバーガー作りや野菜の収穫を体験しました。その他にも、高田松原津波復興祈念公園などを見学して津波の脅威や教訓を学んだほか、夜には星空観察を行うなど、子どもたちは自然に深く触れる時間を過ごしました。
千葉県から参加した岡田直大さん(6年)は「本格的なハンバーガーでおいしかった。いっぱい取れた野菜は家族と一緒に楽しみたい」と笑顔で話していました。

パネル
を活用

■ 太陽光パネルの下で育った記念すべき初収穫
ブルーベリー収穫体験イベントを開催

陸前高田しみんエネルギー株式会社が主催するブルーベリーの収穫イベントが、8月2日(日)、ワタミオーガニックランドで開催され、25人が参加しました。

本イベントは、同社とワタミファーム陸前高田株式会社が取り組む営農“強化”型太陽光発電により栽培されたブルーベリーを収穫するもの。



大きく育ったブルーベリーの収穫を楽しみました

当日は、参加者がパネルの下で育ったブルーベリーの記念すべき初収穫の喜びを分かち合いました。
参加した畑中葵葉さん(広田小1年)は「ここでブルーベリーを栽培していることを初めて知った。甘くておいしかった」と嬉しそうに話していました。
※営農“強化”型太陽光発電…太陽光パネルを発電の他にも、パネルの下で栽培する農作物の雨よけなどに活用する陸前高田モデル

開催します

気仙川流域の皆さんへ

気仙川一斉清掃にご協力ください

気仙川清流化推進協議会では、令和8年度秋の気仙川一斉清掃を実施します。事前の参加報告は不要です。流域の事業者や住民の皆さんの積極的なご参加をお願いします。

◆日時：9月27日(日)午前6時～7時

◆実施区域：矢作町、横田町、竹駒町、気仙町今泉地区の気仙川本流・支流

◆その他：①小雨決行ですが、荒天などにより中止する場合は、前日の午前11時を目途に、防災行政無線で連絡します。

②市指定ごみ袋など透明なごみ袋を各自ご準備ください。

③回収したごみの収集は、市の委託業者が行います。可燃物と不燃物に分けて集積所にまとめて置いてください。集積所の場

所については、事前に地域で確認してください。④活動にあたっては、危険な場所を避け、参加者の安全第一でお願いします。

◆問い合わせ先：気仙川清流化推進協議会事務局（市役所まちづくり推進課生活環境係）（内線123、126）

安全・安心まちづくり大会

岩手県警察音楽隊演奏を披露します

気仙地区防犯協会連合会では、犯罪のない安全で住みよい社会を実現するため、安全・安心まちづくり気仙地区大会を開催します。当日は、岩手県警察音楽隊の演奏などを予定しています。ぜひ会場にお越し下さい。

◆日時：10月9日(金)午後2時～4時（予定）

◆会場：三陸公民館（大船渡市三陸町越喜来字前田36-1）

◆入場料：無料

◆問い合わせ先：気仙地区防犯協会連合会事務局（大船渡警察署内）☎0192（27）3087

第2回開催

ブックランドさんりくを開催します

ブックランドさんりく実行委員会では、「耳をすます。」をテーマに次のとおり本と人との交流を楽しむイベントを開催します。

全国各地から個性豊かな古本屋さん25店舗が集結し、朗読劇やワークシヨップ、スタンプラリー、飲食出店など、本にまつわる企画が盛りだくさんの2日間です。

本やことば、人との出会いにゆつくり耳をすます時間を、ぜひお楽しみください。

◆日時：①9月12日(土)午後1時～午後6時②9月13日(日)午前10時～午後3時

◆場所：高田町まちなか交流広場、市立図書館前（雨天の場合はアバッセたかたパブリックスペース）

◆主催：ブックランドさんりく実行委員会

◆問い合わせ先：交流施設ほんまるの家☎0192（47）3389

おはなしペーパー

大人のたのめのお話会

おはなしペーパーでは、大人のたのめのお話を開催します。

本年は、日本の昔話を中心にグリムのお話も語ります。長く語り継がれてきた昔話はお話も味わい深く、心をゆさぶられます。ひととき、昔話の世界にひたってみませんか。

入場無料で、申し込み不要です。

◆日時：9月26日(土)午後2時～3時

◆場所：市コミュニティホール

◆問い合わせ先：おはなしペーパー（馬場）☎090（6782）2961

シルバー人材センター

シルバーフェア

市シルバー人材センターでは、地域の皆さんにセンターの魅力を知っていただくためシルバーフェアを開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

◆日程：10月3日(土)

◆場所：市コミュニティホール

◆内容：①物販②会員手作りのお菓子、手芸品、はた織り製品

※販売協力（東海堂、カフェエドバーわいわい、あすなろホーム

AMAZAKE STAND（アマザケ・スタンド）②催物②縁

日コーナー、ニュースポーツ、ヤクルト肌年齢測定 午前11時

～午後1時30分③ステージイベント①「中川あい子講演会&中

川社中歌謡ショー」午後2時～

3時30分入場無料 全席自由席

◆問い合わせ先：市シルバー人材センター☎0192（54）4888

東日本大震災津波伝承館

「防災アイテム体験」イベント

東日本大震災津波伝承館では、9月1日の「防災の日」を踏ま

え、防災意識の醸成につなげるため「防災アイテム体験」イベントを開催します。

防災ポトルづくりや非常用トイレ実験で、体験しながら防災を学びませんか。

◆日時：9月21日（月・祝）、23日（水・祝）午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

◆場所：高田松原津波復興祈念公園内 国営追悼・祈念施設管理棟セミナールーム

◆内容：防災ポトルづくり体験、非常用トイレ実験

◆対象者：どなたでも参加可

◆申込：不要

◆問い合わせ先：東日本大震災津波伝承館☎0192（47）4455

東日本大震災津波伝承館

伝承館開館7周年記念「出張I・セミナー」

東日本大震災津波伝承館では、開館7周年記念イベントとして、県立図書館と連携し、「出張I・セミナー」を開催します。

防災ゲームやボードゲームなど楽しみながら防災を学び、みんなと交流してみませんか。

◆日時：9月22日（火・祝）午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

◆場所：高田松原津波復興祈念公園内 国営追悼・祈念施設管

理棟セミナールーム

◆内容：防災ゲーム、ボードゲームのほか本の展示など

◆対象者：どなたでも参加可

◆申込：不要

◆問い合わせ先：東日本大震災津波伝承館☎0192（47）4455

岩手県宅建物取引業協会

不動産無料相談会

宅地建物取引士が、土地や建物の売買、賃貸、空き家、空き地などの不動産に関する様々な相談を受けます。

相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご利用ください。

◆日時：9月23日（水・祝）午前10時～午後3時

◆場所：アバッセたかた会議室

◆予約：不要

◆問い合わせ先：（一社）岩手県宅地建物取引業協会気仙支部

この不動産内☎0192（47）3177

募集します

職員採用試験を実施します

令和8年度陸前高田市職員採用試験（後期）

令和9年4月採用の職員を募集します。

◆募集職種：①一般事務②一般事務（障がい者対象）③保育士

④学校用務員⑤消防職

◆受験条件：①昭和61年4月2

日から平成21年4月1日までに生まれた人②昭和51年4月2日

から平成21年4月1日までに生ま

まれ、次に掲げる手帳の交付を

受けている人。身体障害者手帳、都道府県知事もしくは政令

指定都市市長が交付する療育手帳、精神障害者保健福祉手帳（※

これらの手帳は、受験申込日および受験日当日に有効であること

③平成8年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を有してい

る人、または令和9年3月までに取得見込みの人④昭和56年4

月2日から平成21年4月1日までに生まれた人⑤平成8年4月2

日から平成21年4月1日までに生まれた人

◆応募期限：9月11日(金) ◆申込方法：インターネットからの申し込み

◆一次試験日：①市役所会場9月27日(日)②テストセンター9月14日(月)～27日(日)

◆問い合わせ先：市役所総務課職員係（内線314）



お知らせ

駐車場を整備

BRT小友駅前に

駐車を整備しました

市では、BRT小友駅前に駐

車場を整備しました。

本駐車場は、同駅が大船渡方面と本市中心市街地方面の双方

を結ぶ交通の結節点であることに

に加え、パークアンドライドな

ど多様な移動手段を推進する必要

があることから、整備したものです。



駐車場はこの看板が目印です

◆問い合わせ先：市役所まちづくり推進課生活環境係（内線122）

無料行政相談

行政相談月間

総務省では、行政相談制度が、広く国民に理解、利用されるよう9月と10月の2カ月間を「行政相談月間」と定めています。

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見、要望を広くお聴

きし、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促

進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。

困りごとや要望したいことなどがある人は、お気軽にご相談ください。

◆日時：原則毎月第2水曜日、午前10時～正午、午後1時～3時

◆場所：市コミュニティホール



有効期限をご確認ください

◆行政相談員：菅野光広氏、千葉徳次氏

◆問い合わせ先：市役所まちづくり推進課生活環境係（内線122）

◆お手元の商品券確認を9月30日が期限の商品券があります

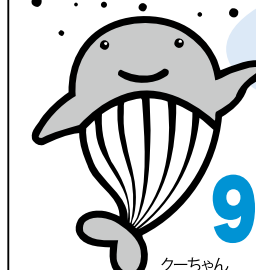
陸前高田商工会発行の「絆商品券」のうち、有効期限が「2026年9月30日」と表示

されている商品券は、間もなく使用できなくなります。

商品券をお持ちの人は、期限内の使用をお願いします。

◆問い合わせ先：陸前高田商工会☎0192（55）3300





クーちゃん

ハロウィンジャンボ4億円

(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ4,000万円

(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

9月16日水2種類同時発売!

発売期間 9/16②～10/16④
抽せん日 10/26④

公益財団法人岩手県市町村振興協会 各1枚 300円



今月の
おすすめ
レシピ

Recommended Recipe

いろどりサラダ

【1人分】
エネルギー 34kcal
食塩相当量 0.4g



減塩のためのおすすめレシピ

野菜や枝豆、ひじきを使った彩り豊かな和え物です。酢の酸味やひじき、枝豆の旨味で、薄味でもおいしく食べることができます。

また、キャベツやキュウリ、枝豆、ひじきには「カリウム」が豊富に含まれており、塩分を体の外へ排出するはたらきをサポートしてくれます。

減塩や健康に役立つ体に優しいレシピを、ご家庭でもぜひお試しください。

★材料（4人分）

キャベツ	120g	A	しょう油	大さじ1/2
キュウリ	80g		酢	//
ニンジン	20g		砂糖	小さじ1/2
枝豆	30g		こしょう	少々
芽ひじき	1.5g		サラダ油	小さじ1

COOKING 作り方

- ①枝豆を茹でてさやから取り出し、冷ましておく。
- ②ひじきを戻して茹で、冷ましておく。
- ③キャベツ、キュウリ、ニンジンは食べやすい大きさに切ってから茹で、冷ましておく。
- ④①～③をAの調味料で和え、味を整える。

問い合わせ先 学校給食センター ☎0192(55)2073

地域クラブ通信

RIKUZENTAKARA

地域クラブとは…

学校部活動の地域展開に伴い、地域の団体や指導者などが主体となって、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を支える取り組みです。

チーム名 ☒ 種目：バレーボール

いわて高田クラブ

団員20人

監督 とばり 理智 さん

スローガン 個々の能力を最大限に生かし
スピードで戦う

キャプテンからのコメント

- ☒ 高田東中学校
- ☒ さかい かのん さん(2年)



チームの強みの粘り強いレシーブと、普段の練習から意識するスピード感を武器に、東北大会出場を目指します。



Iwate Takata Club

団員を募集しています

事務局 さかい 境井 ☎080(5562)3367



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
※広報りくぜんたかた9月号(No.1218)の制作経費は1部72円(税抜き)、発行部数は7,250部です。